



ふくしまICT 未来フェア2019

入場無料

世界同時ライブ
配信決定!!

Society 5.0×ふくしま

～情報の共有と利活用で生まれる新しいふくしま～

特別講演

10:30～11:30
(60分)

2030年の社会

～5GやAI、ビッグデータ、自動運転で
街や働き方はどう変わるのか～

ロボットスタート株式会社
ロボスタ編集部 ジャーナリスト
人工知能関連ITライター/ロボットライター/
ジャーナリスト/ コンサルタント

神崎 洋治 氏

職歴・経歴



ロボット、ディープラーニングをはじめとした人工知能(AI)、IoT、自動運転の最新情報に詳しいテクニカルライター兼コンサルタント。1996年から3年間、米国シリコンバレーに住み、アスキー特派員等としてジャーナリスト活動に従事。パソコンとインターネット業界の最新情報取材し、月刊アスキー、日経パソコンなど、日経BP社、朝日新聞社、毎日新聞社などが刊行する雑誌や書籍、新聞等で連載や寄稿を行う。国際的なロボットとAIの競技大会「ロボカップ2018名古屋世界大会」の公式ホームページのライター/インタビューア、経産省主催のWorld Robot Summit (WRS) 2018の決勝の審査員などをつとめる。

令和元年

11/13 水

10:00～17:00

コラッセふくしま
4F多目的ホール、
3F企画展示室
福島市三河南町1-20

事例講演II

13:40～14:20
(40分)

ファッション領域のバリューチェーン各所に
浸透を続けるAI(人工知能)の背景と実例

株式会社ニューロープ

代表取締役 酒井 聡 氏

職歴・経歴



九州大学でアートとエンジニアリングを学ぶ。在学中、ポスター制作等デザイン分野で活動。2009年、(株)マイナビに就職し、情報誌の編集、マーケ、広告、オペレーション構築、営業支援等に従事。同時期に中小企業診断士を取得し、複数企業をコンサル。2012年より㈱ランチェスターでウェブアプリ、スマホアプリの企画、デザイン、PMを勤めながら、スクールでプログラミングを学ぶ。2014年、㈱ニューロープ設立。ファッションに特化したAIを開発し、アパレルEC・アパレルメーカー・メディアなどに提供する事業を展開。

事例講演I

13:00～13:40
(40分)

製造現場における熟達者思考の
汎知化、およびAIとしての活用方法

株式会社LIGHTz

CKO(最高知識責任者) 武善 茂知 氏

事業企画部 セクションチーフ 桑原 洋介 氏

職歴・経歴



武善 茂知 氏

1977年～2015年 日立製作所で産業用ロボット開発、制御用インバータ開発、クリームはんだ印刷機の開発、海外での据付、海外メンテナンス拠点開設、海外事業所品質保証要因育成、海外プラントプロジェクト入札・見積対応。2016年 LIGHTz 参画 CKO(Chief Knowledge Officer)として、「汎知化(はんちか)」ソリューションの開発に従事。



桑原 洋介 氏

大手旅行会社で国内・海外のイベントや各種学会の企画・運営に従事。独立系コンサルティングファームに移り、大手メーカーを対象とした幅広いコンサルタント業務に加えて、兼務として技術系ベンチャー企業の立ち上げに役員として参画。その後、株式会社O2Iに参画して生産管理システム構築、ECM改革、営業力強化支援、新規事業立上げ等に携わる。現在はグループ会社のLIGHTzの事業企画も兼務。

AI・IoT等活用
アイデアソン成果発表

15:00～15:40(40分)

7月31日及び9月3日に行われたイベント「AI・IoT等活用アイデアソン」で、県や市町村、地域が抱える課題についてAIやIoTを活用して解決するために出されたアイデアを発表します。

15:40～16:10(30分)

地域情報化セミナー

総務省東北総合通信局

展示ブース 10:00～17:00

地域活性化や復興に資する参加型の最新ICTソリューションを紹介します。

情報交換会 17:20～

会員同士の情報交換の場として会費制で実施します。
※事前申し込みが必要です。

スタンプラリー開催

5つ以上の展示ブースを回るとルンパやフィットネスリストバンドなどの豪華景品が当たるチャンス!!

講演等のライブ配信について

特別講演や事例講演などを、当日インターネットから視聴することができます。
※視聴には事前申し込みが必要です。申し込みはこちらから(申し込み用QRコード)。
※申込締切 11月13日(水) 16:10まで



マイナンバーカード申請をお手伝いします。

3階展示ブースにて、福島市役所市民課職員がマイナンバーカード申請をお手伝いします。※福島市に住所がある方が対象となります。

【アクセス案内】

●JR福島駅
(東北新幹線・東北本線・奥羽本線)
西口より徒歩3分

駐車場は指定の福島駅西口
「ピボット駐車場」のみ無料。

福島市三河南町 1-20



主催:ふくしまICT活用推進協議会、福島県
共催:総務省東北総合通信局、東北情報通信懇談会

後援:福島県教育委員会、福島県市長会、福島県町村会、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、一般社団法人福島県情報産業協会、福島県中小企業団体中央会、福島県農業協同組合中央会、公立大学法人会津大学、NTT東日本福島支店、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島

問い合わせ先

福島県情報政策課(ふくしまICT利活用推進協議会)

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号 TEL:024-521-7134 E-mail:jouhou_kikaku@pref.fukushima.lg.jp

ふくしまICT未来フェア2019

Society 5.0×ふくしま～情報の共有と利活用で生まれる新しいふくしま～

展示ブース 10:00～17:00 / 3階 企画展示室

スタンプラリー開催

5つ以上の展示ブースを回るとルンバやフィットネスリストバンドなどの豪華景品が当たるチャンス!!

3 株式会社 ドコモCS東北 福島支店

モバイルを活用した法人ソリューションのご紹介

6 福島県ネットワーク・セキュリティ連絡協議会

架空請求詐欺、ネットショッピング詐欺などの犯罪手口をアプリにより実体験できます。(タブレット使用) アプリの内容とリンクした被害防止動画等を視聴できます。

9 福島大学「チーム:ウッドパワー」

共生システム理工学類・食農学類と中高等学校の教員がチームを組み、再生可能エネルギー・放射性セシウム処理問題と、復興の問題の解決をめざす研究「最新ガス化発電とそれに関する技術」について展示・紹介します。

1 NTT東日本 福島支店

AIを活用した「働き方改革」、「業務効率化」を推進するクラウドサービスなど、最新のソリューションをご紹介します。またビジネスに関わる多様な課題に最適な解決策をご提案します。

4 株式会社 コンピューターシステムハウス

自動化・省力化をテーマにした基幹システムと、ふくしまICT未来フェアのオンライン配信プラットフォームとしても利用されているウェビナーマーケティング「ネクプロ」についてご紹介します。

7 日本大学工学部

復興、地域活性化には、健康で持続可能な社会を実現していくこと(LOHAS)が重要であり、激甚災害時にも使える地域に根ざしたコミュニケーションサービス提供基盤について、産学連携した取り組みを紹介します。

10 株式会社アサカ理研

品質管理ソフトウェア「Mr.Manmos」ヘッドマウントディスプレイによる作業省力化ツール「VD-In」検査工程の自動化・検査データの一元管理・傾向管理などにより御社の検査現場のIoT化をお手伝いいたします。

2 日本電気株式会社 福島支店

①顔借競争アプリ
カメラで検出した2人がどのくらい似ているか数値で示すゲームです。子供も大人も簡単に楽しんでいただけます。
②ターゲット広告サイネージ
ターゲット層にあった情報をタイムリーに表示します。

5 株式会社エフコム

AIエンジンを搭載したロボティクスと血圧計等の医療機器を連携するツールをご紹介します。自然対話や感情認識・個人認識によってより多くの情報が取得可能となり、その情報を個人や職域等での健康管理に役立てられます。

8 公立大学法人会津大学

会津大学では、今年度、文部科学省による共同利用・共同研究拠点認定を受け、宇宙情報科学研究センターが発足しました。はやぶさ2プロジェクトでの活躍や地球観測衛星による福島県吾妻山監視等、会津大学での宇宙関連の取り組みを紹介します。

11 富士通株式会社 福島支社

ヘアピンのように髪の毛につけると、生活の中の様々な音を光と振動によって「感じる」ことができる装置「Ontenna」、外国語でのコミュニケーションがスムーズに行え、ボーダーレスな意思疎通が可能なポータブル翻訳機「arrows hello」をご紹介します。

【一般社団法人福島県情報産業協会】

12 株式会社福島情報処理センター 福島コンピューターシステム株式会社 共同出展

①「Pepper」 ソフトバンク社製Pepperを利用した、ロボットアプリの紹介
②「ADReal」 ARを使ったアナログとデジタルを融合させた新しいサービス
③「Hello Think!」 描かれた絵をAIが認識し、モノを動かすことができるアプリ

13 株式会社シンク

ドリンクディスペンサーをインターネットに接続したIoTサービス「Nomasse(のまっせ)」をご紹介します。ソフトドリンクからお酒まで、ドリンク追加のお知らせやランキングなど、新しい時間のたのしみ方を体験ください。

14 株式会社東日本 計算センター

環境調査ドローンパネル/CG
入退館管理システムwith Pepper

15 東北インテリジェント通信株式会社

事業者間の通信サービス、インターネットサービス、レンタルサーバー等のクラウドサービス、標的型訓練メールサービス、防災対策に最適な遠隔作業支援システムなどを紹介します。

16 福島市役所市民課

タブレット端末を利用した無料の写真撮影とインターネットでのマイナンバーカード申請をお手伝いする「カンタン申請」を会場で実施します。この機会に申請してみませんか?(福島市に住所がある方のみ)

17 県政PRブース

AR技術を活用したアプリによる交流増加に向けた取り組み、また避難されている方へ情報発信するアプリについてご紹介します。

タイムスケジュール

時間	講演
10:00	受付開始
10:25～10:30	主催者挨拶 福島ICT利活用推進協会会長
10:30～11:30	特別講演 演題：2030年の社会 ～5GやAI、ビッグデータ、自動運転で街や働き方はどう変わるのか～ 講師：ロボットスタート株式会社 ロボスタ編集部 ジャーナリスト 神崎 洋治氏
13:00～13:40	事例講演I 演題：製造現場における熟達者思考の汎知化、およびAIとしての活用方法 講師：株式会社LIGHTz 武善 茂知氏/桑原 洋介氏
13:40～14:20	事例講演II 演題：ファッション領域のバリューチェーン各所に浸透を続けるAI(人工知能)の背景と実例 講師：株式会社ニューロープ 酒井 聡氏
15:00～15:40	AI・IoT等活用アイデアソン成果発表
15:40～16:10	地域情報化セミナー